

第3回 日本獣医がん学会雑誌 編集委員会 議事録

日時：2010年7月10日(土) 13:30~14:00

場所：麻布大学8号館 8503講義室(5階)

出席者(順不同・敬称略)：

[本会雑誌編集委員会 編集委員] 浅野和之(日本大学) 廉澤 剛(酪農学園大学) 高橋朋子(日本大学) 難波裕之(難波動物病理検査ラボ) 圓尾拓也(麻布大学附属動物病院) 山上哲史(マルピーライフテック株式会社) (合計6名)

委任者：なし

議長：[本会雑誌編集委員会編集委員長] 藤田道郎(日本獣医生命科学大学)

書記：[本会雑誌編集・制作担当] 吉田由紀子(CACompany 委託)

下記のとおりご報告申し上げます。

1. 報告事項 敬称略

(1) 投稿促進について：

認定委員会にて、本会認定医 種の更新資格として、学会雑誌への投稿を義務づけられたことが、本会雑誌編集委員長を通じて、本編集委員会にて報告された。

(2) 投稿状況と進行状況について：

Vol.1 No.1では「原著」2本「短報」2本を掲載、Vol.1 No.2では「原著」1本「短報」1本を掲載、また2010年7月10日現在、「原著」3本「短報」2本が査読進行中であることが報告された。

(3) 日本獣医がん学会雑誌 URL について：

【日本語】 <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jvcs/-char/ja>

【英語】 <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jvcs>

上記 URL 及び日本獣医がん学会 HP 画面上からも、本会雑誌(電子ジャーナル)へのアクセスが可能になったことが報告された。

(4) その他：

(ア)~(エ)が報告された。

(ア) 投稿承諾書を、日本獣医がん学会 HP からフォーマットをダウンロードできるように準備中。

(イ) 第2回編集会議にて「査読シートはなしで、査読を進める。ただし査読者には「掲載可」「不可」「修正後採用」について明記してもらう。」(審議事項1(4))が承認されたが、将来的には査読シート(例：必要事項を word ファイルにまとめる)の作成も検討。

(ウ) 下記の査読者名簿の変更。

【原著・短報の査読者名簿】

査読者名：高橋 朋子

連絡先メールアドレス： tomoko_dvm@mac.com または takahashi.tomoko2@nihon-u.ac.jp

査読者名：高橋 朋子

連絡先メールアドレス：takahashi.tomoko2@nihon-u.ac.jp

本来「高」（ハシラダカ）だが、メール送信等で文字が潰れる可能性があり、御本人ご配慮により、以後は「高」を使用。

賀川 由美子（病理組織検査 ノースラボ）より査読者受諾のご連絡あり。

【短報の査読者名簿】

査読者名：今井 理衣

メールアドレス：rie-i@mm.em-net.ne.jp

メールアドレス：nontan92@mimi95@gmail.com

(エ) 日本獣医がん学会雑誌 電子ジャーナルアクセス・検索サイトへのリンク状況「jvcs アクセス統計(10.02)」「jvcs アクセス統計(10.03)」「jvcs アクセス統計(10.04)」「jvcs アクセス統計(10.05)」について。

2. 審議事項 敬称略

(1) 本会雑誌2010年度予算案について：

本会雑誌2010年度予算案が提案され、理事会への提出が、承認された。

(2) 「技術講座」新規ご執筆依頼について：

6号目(Vol.2 No.2)からの「技術講座」について、内科部会より『what is your diagnosis』のような症例検討の掲載について提案のあった旨が下田哲也編集委員より報告され、承認された。

(3) データの送付について：

編集委員会(journal@jvcs.jp) 編集委員、メイン査読者、査読者、英文査読委員へのデータ送付について(ア)(イ)が、承認された。

(ア) 容量の大きなデータについて

- ・メール添付可能な最大データ量について、本会雑誌編集委員会は各先生方へ確認し、ご申告頂く。
- ・ご申告の最大容量以上のデータは、大容量ファイル転送サービスのみ、または左記転送サービス及びCD-ROMにて送付する。

(イ) 個人情報保護について

査読者名簿など、件数の多い個人情報が明記されたデータは、レターパック(郵送・配送状況をネットにて確認可能)などを活用し送付する。

(4) 英論文について：

英論文について(ア)(イ)が承認された。

(ア) 英論文は、内容そのものに重点をおき、メイン査読者・査読者は査読を行う。内容そのものが甚だしく質の低いものでない限り、可能な限り掲載方向で査読を進める。

(イ) 英論文は、英語のレベルを一定水準に満たすため、【投稿者側】、【編集委員会側】にて下記を行う。

【投稿者側】 イングリッシュ・ネイティブ・スピーカーによる英文校閲を行い、その英論文を投稿する。校閲費用は投稿者側が負担する。なお、本件については投稿規程に関わるため、理事会および総会での承認をもって施行する。

【本会雑誌編集委員会側】査読結果をふまえた修正論文が提出されたら、英文校閲企業にてのイングリッシュ・ネイティブ・スピーカーによる英文校閲を行う。さらに、本会雑誌英文査読委員・石田卓夫氏による英文査読を行う。

(5) 著者修正、査読・メイン査読、英文査読の締切設定について：

日本学術会議への早期申請および年4回発刊を軌道にのせるため、当面の間、各行程に締切を設定する。また、締切を過ぎても何もご連絡がない場合は、編集委員会から随時、進捗状況を伺わせて頂くことが、承認された。

3、次回編集委員会 開催予定

日時：2011年冬

場所：未定

出席者（予定・順不同・敬称略）：

藤田道郎（編集委員長）、浅野和之（編集委員）、皆上大吾（編集委員）、廉澤 剛（編集委員）、下田哲也（編集委員）、高橋朋子（編集委員）、難波裕之（編集委員）、圓尾拓也（編集委員）、山上哲史（編集委員）、吉田由紀子（CACompany 委託：編集・制作担当）

審議事項：

(1) 本会雑誌誌面上での、メイン査読者の公表方法について

以上。

（文責者：藤田道郎）